

2021（令和3）年度 事業報告

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

中野区障害者福祉会館

東京都手をつなぐ育成会 統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

中野区障害者福祉会館サブミッション

「さまざまなニーズに対応できるよう、関係機関と連携をとり、利用者・近隣住民に信頼される施設を目指す。」

1. 全体状況

昨年度の経験をふまえ、新型コロナウイルスの感染予防をしながら、コロナ以前の生活を取り戻す為の工夫を行った1年となった。中野区と巡回バスを請け負うバス会社との契約更新に伴い、事業所ごとにバスルートを設定し、他事業所利用者と乗り合わせない工夫をした。結果、他事業所でのクラスター時も、利用者が安心して通所できる環境を提供でき、また、感染拡大を防ぐことができた。会館祭りや宿泊旅行などの行事は中止となったが、生活介護ではリモートでの盆パラビクスや音楽活動を実施、自立訓練では東京オリンピックを機に、特にボッチャの実施により障害者スポーツへの関心を高めることができた。感染予防のため、数名の生活介護利用者が長期にわたり、通所を控えてしまっている為、昨年度に引き続き、在宅支援で利用できるプログラムやDVDの作成を実施した。職員については、在宅勤務や時間をずらしての通勤を継続するとともに、家庭内感染の増加を想定し、昨年作成した職員の行動を示すフローチャートを更新するとともに、抗原検査キットを配布し、職場復帰の不安を軽減させた。

2. 本年度重点目標に対する結果

(1) 会館運営

- ① 会館利用者全体の避難方法の見直し
昨年度同様、感染予防の為、会館の集会室を利用する障害者団体との避難訓練は実施できなかった。
- ② 新型コロナウイルス感染防止を含む会館全体の統一化を図る。
巡回バスの管理運営方法を見直すとともに、他事業所との乗り合わせを無くした。沼袋地区区民センターとも密に情報共有を行い、状況に応じて、集会室の利用方法等を変更することができた。また、地区区民センターがワクチン接種会場となったが、事業の利用者との導線を分けて対応することができた。

(2) 自立訓練（機能訓練）事業

- ① 関係機関との連携と利用率向上
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、回復期病院や高齢者福祉施設への事業説明の実施や訪問はできなかった。一方で、高次脳機能障害者支援のネットワークづくりとして、中野区障害者地域自立支援センター「つむぎ」との情報交換会を実施し、相互に協力することを確認した。
また自立訓練事業のパンフレットを刷新し、地域関係機関へ配布したことで、新規の利用相談につながる事例があった。
- ② 訓練内容の充実
復職希望者への通勤訓練や、パソコンを使用した事務作業訓練の試行など、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらも新たなプログラムを実施した。
社会生活技術力を高める訓練については、利用者数の減少や身体機能訓練ニーズが主であり実施には至らなかった。
- ③ 地域活動支援センタープログラムの見直し
情報格差の解消や余暇時間の充実を目的として、スマートフォンやタブレットを用いたプログラムを新設した。新型コロナウイルス感染症の影響により、他者とのつながりを感じにくくなっていたため、プログラム参加者から好評であった。

(3) 生活介護事業

- ① チーム編成の見直しと日中活動の工夫
日中活動チームをA、B、Cの3つに大きく分け、サン、ポレ合同で実施し、毎週金曜日の午前中は合同レクリエーションを行い、生活介護事業皆で交流する場を設けた。また、新たな活動として、家庭菜園

や梅干し作り等を行い、出来た成果物をさらに調理実習と言う形で活動に活かした。

② 感染症対策の強化と意識向上に努める

昨年度に続き、コロナ感染症対策を継続して実施している。緊急事態宣言が発令された際は、各チーム以外の行き来はせず、チームごとに活動し、感染経路縮小に努めた。

③ 地域に向けた理解啓発活動の実施

コロナ禍での理解啓発活動の一環として生活介護事業、自立訓練事業の利用者が協力し、作品を製作した。「げんきのかたまり」に出展し、作品が動画やネットで全国配信された。また、アルモニーにて作品紹介動画を流し、ご家族からも高評価を頂いた。

(4) 特定相談支援事業

生活介護利用者の充実した地域生活に向けて、新規計画2件、更新12件、モニタリング14件のサービス等利用計画を作成した。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

障害者の日常生活及び社会生活を支援し、共生社会の実現に向けて、区内の障害者が地域住民との連携の中で、交流と相互理解を深めることによって、障害者の福祉向上を図ることを目的とする。

(2) 名称及び所在地等

名称	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 中野区障害者福祉会館
事業所番号	自立訓練（機能訓練） 1 3 1 1 4 0 0 9 0 5 生活介護 1 3 1 1 4 0 0 8 9 7 特定相談 1 3 3 1 4 0 1 5 4 5
所在地	東京都中野区沼袋2丁目40番18号
電話	03 - 3389 - 2171
ファックス	03 - 3389 - 2175
電子メール	na_shoukan@ikuseikai-tky.or.jp

(3) 設立

設立年月日	昭和54年10月1日
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
事業所種別	障害福祉サービス（生活介護事業） 障害福祉サービス（自立訓練（機能訓練）） 障害福祉サービス（特定相談）

(4) 施設の規模

敷地面積 2,035.425㎡

延床面積	障害者福祉会館	2,650.790㎡
	沼袋区民活動センター	1,135.770㎡
	防災備蓄倉庫	188.010㎡
構 造	鉄筋コンクリート造	地上3階・地下1階建て

(5) 職員構成

① 職員構成

ア. 会館運営

常 勤	施設長（兼務）	1名	非 常 勤	事務（兼務）	2名
	事務（兼務）	1名		管理員	4名
				事務（派遣）	1名
合 計		2名	合 計		7名
合 計		9名			

イ. 自立訓練（機能訓練）・地域活動支援センター

※管理者（施設長）サービス管理責任者（主任支援員）

常 勤	施設長（兼務）	1名	非 常 勤	事務（兼務・派遣）	3名
	事務（兼務）	1名		支援員	2名
	主任支援員	1名		看護師	1名
	支援員	3名		理学療法士	1名
	理学療法士	1名		作業療法士	2名
	作業療法士	1名		言語聴覚士	1名
	看護師	1名		嘱託医（整形外科）	1名
				嘱託医（内科）	1名
合 計		9名	合 計		12名
合 計		21名			

ウ. 生活介護 ※管理者（施設長）サービス管理責任者（主任支援員）

常 勤	施設長（兼務）	1名	非 常 勤	事務（兼務・派遣）	3名
	事務（兼務）	1名		生活支援員	4名
	主任支援員	1名		看護師	2名
	支援員	8名		理学療法士	2名
	看護師	2名		作業療法士	1名
				嘱託医（精神科）	1名
				嘱託医（歯科）	1名
合 計		13名	合 計		14名
合 計		27名			

(6) 利用者状況

① 自立訓練（機能訓練）事業

ア. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用することが可能な方で、年齢は契約時満65歳未満とする。ただし言語訓練は除く。

介護保険制度および医療機関における同種サービスの併用は不可。

イ. 利用時間・定員

利用時間	定員	合計
9:30～12:00	10名	20名
13:00～15:30	10名	

ウ. 性別・年齢構成（令和3年度内）

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
男性	0名	0名	0名	0名	5名	1名	2名	8名
女性	0名	1名	2名	0名	3名	1名	0名	7名
合計	0名	1名	2名	0名	8名	2名	2名	15名

エ. 障害程度（令和3年度内）

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	6名	3名	1名	0名	0名	0名	10名
2種	0名	2名	0名	2名	1名	0名	5名
合計	6名	5名	1名	2名	1名	0名	15名

オ. 利用者の利用前の状況（令和3年度内）

状況	在宅	入院	通院	他機関	その他	合計
人数	5名	1名	1名	6名	2名	15名

② 地域生活支援事業（地域活動支援センター）

ア. 利用対象者

中野区内に住所を有する満65歳未満の身体障害者、または高次脳機能障害の診断を受けた方（難病についても応相談）であり、常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用できる方。

イ. 利用時間・定員

利用時間	定員	合計
9:30～12:00	7名	15名
13:00～15:30	8名	

ウ. 性別・年齢構成

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～65歳	合計
男性	0名	0名	0名	1名	10名	4名	15名
女性	0名	0名	0名	0名	3名	3名	6名
合計	0名	0名	0名	1名	13名	7名	21名

エ. 障害程度

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	8名	6名	1名	0名	0名	0名	16名
2種	0名	2名	0名	2名	1名	1名	5名
合計	8名	8名	1名	2名	1名	1名	21名

合計 21名

③ 生活介護事業

ア. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。

障害支援区分3以上（50歳以上は区分2以上）の方。

イ. 定員

32名（現員27名）

ウ. 性別・年齢構成

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男性	2名	7名	1名	2名	4名	16名
女性	1名	6名	1名	2名	1名	11名
合計	3名	13名	2名	4名	5名	27名

*平均 男性 36歳 女性 32.1歳 全体 34.4歳

エ. 障害程度

身障手帳 愛の手帳	無し	1級	2級	3級	4級	5級	合計
1度	1名	2名	0名	0名	0名	0名	3名
2度	14名	0名	1名	0名	0名	0名	15名
無し	0名	9名	0名	0名	0名	0名	9名
合計	15名	11名	1名	0名	0名	0名	27名

オ. 障害支援区分

障害支援区分	1・2	3	4	5	6	合計
人数	0名	0名	5名	8名	14名	27名

カ. 利用者の利用前の状況

状況	在宅	特別支援 卒業	区立卒業	他通所 施設	入所施設	合計
人数	1名	23名	1名	2名	0名	27名

キ. 保護者状況

状況	両親	父親	母親	兄弟 姉妹	叔父 叔母	従兄 弟	後見 人	その 他	合計
男性	12名	0名	3名	0名	0名	0名	0名	1名	16名
女性	9名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	1名	11名
合計	21名	0名	4名	0名	0名	0名	0名	2名	27名

4. 事業実績

(1) 会館運営

① 送迎バスの運行管理

ア. 運行台数

マイクロバス（リフト付き）4台

ワゴン車（リフト付き）5台

イ. 運行時間

午前7時25分～午後6時00分

ウ. コース

区内9コース

エ. 利用状況

	運行回数	利用人数
赤バス	627回	3,351名
紫バス	591回	3,973名
青バス	645回	6,094名
緑バス	641回	4,960名
れもんバス	529回	971名
りんごバス	600回	1,451名
いちごバス	457回	934名
すいかバス	613回	1,274名
やよいバス	236回	1,287名
合計	4,939回	24,295名

② 施設提供

ア. 個人利用

a. 利用時間 午前9時から午後10時

b. 利用状況

施設	利用人数
福祉図書室	0名

イ. グループ利用

a. 利用時間

利用時間					
1	9:00~12:00	2	13:00~17:00	3	18:00~22:00

b. 利用状況

障害者

施設	件数	人数
多目的室	0件	0名
調理室	8件	98名
音楽室	30件	330名
スポーツ訓練室	160件	865名
合計	198件	1,293名

一般

施設	件数	人数
調理室	0件	0名
音楽室	37件	550名
スポーツ訓練室	5件	37名
合計	42件	587名

(2) 自立訓練事業(機能訓練)事業

① 入退所状況(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	11	10	9	9	8	7	8	8	6	6	7	8	97
新規	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4
終了	2	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	7

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況（名）

P T：理学療法 O T：作業療法 S T：言語聴覚療法

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
P T	74	72	88	73	80	73	79	62	50	38	36	70	795
O T	61	55	72	53	59	53	60	44	42	32	26	46	603
S T	31	32	41	32	27	30	38	23	24	20	8	0	306

④ 日課・週間プログラム

(午前の部)

9:30	会館到着（午前の部） バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
10:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

(午後の部)

12:45	会館到着（午後の部） バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
13:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

(3) 地域活動支援センター

① 入退所状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	24	26	25	23	23	24	24	22	22	22	22	21	278
新規	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
終了	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	1	1	7

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延数	123	123	169	150	139	151	136	134	127	118	108	145	1623

④ 日課・週間プログラム

(午前の部)

9:30	会館到着・バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
10:00	準備体操・活動開始（それぞれのグループに特色あり） 体操・創作・外出・調理・自主トレーニング等
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

(午後の部)

12:45	会館到着・バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
13:00	準備体操・活動開始（それぞれのグループに特色あり） 体操・創作・外出・調理・自主トレーニング等
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

⑤ 活動グループ

グループ名	人数	活動内容
ヘルシーライフ	3名	食の関心、陶芸、園芸等
スロー☆ワーキング	3名	俳句作成、クロスワード等
つながりねっと	4名	スマホやPCを活用
エンジョイセルフ	4名	個別体操、レクリエーション
おしゃべり工房	3名	絵画制作（障害者総合美術展に応募）等
ミュージック	3名	曲に合わせての楽器演奏等
S H I P	4名	高次脳機能障害者を対象としたグループ活動 社会生活技術訓練の試行
自主トレーニング	5名	理学療法士と相談して立てたプログラムに沿った自主的な運動等

(4) その他

① 入浴事業

ア. 利用対象者

区内に在住する障害者で、一般の浴槽での入浴が難しい方に対して清潔を保つことを目的に入浴の機会を提供する。

イ. 定員

a. 機械入浴 1人週1回、1日最大4名まで利用可。

b. 介助入浴 1人週2回、ヘルパー等の付添で利用可。

※介助の状況により1日に10名程度利用可。

ウ. 性別・年齢構成・障害程度

a. 機械入浴（現員 1 名）			b. 介助入浴（現員 0 名）		
性別	年齢構成	障害程度	性別	年齢構成	障害程度
男性	50～59 歳	1 種 1 級			

エ. 利用状況

a. 機械入浴

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	4	4	5	4	4	5	4	4	5	4	4	5	52

b. 介助入浴

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	4	4	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	15

② 講座・講習会

ア. 利用対象者（中野区内在住、在勤の方）

イ. 定員（講座・講習会により変動あり）

ウ. 利用状況

a. 講座（定例・入門）

障害者の自立や社会参加、趣味の拡大等の為に開催

講座名	曜日	実施回数	利用人数
料理講座（視覚障害）	第 1 火曜	全 0 回	0 名
編み物講座	第 1 月曜	全 8 回	47 名
座位エクササイズ講座	第 2・4 木曜	全 20 回	95 名
書道講座	第 2 水曜	全 10 回	62 名
レク体操講座	第 1 金曜	全 8 回	23 名
入門講座		全 0 回	0 名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部講座の中止、縮小を行った。

b. 講習会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施しなかった。

点字講習	前期後期	全 20 回	利用人数	94 名
------	------	--------	------	------

（５）生活介護事業

① 車椅子利用者 13 名

② 入退所状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	28	28	28	28	28	28	28	28	28	27	27	27	333

入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

③ 保護者状況 (名)

状況	両親	父親	母親	兄弟 姉妹	叔父 叔母	従兄 弟	後見 人	その 他	合計
男性	12	0	3	0	0	0	0	1	16
女性	9	0	1	0	0	0	0	1	11
合計	21	0	4	0	0	0	0	2	27

④ 利用率 (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
73	65.6	65.7	65.8	62.5	67.8	68.1	70.7	70.7	60	58.2	64.6	66

⑤ 日課・週間プログラム

	月	火	水	木	金
9:30	送迎バスまたは家族送迎にて通所				
9:50	更衣・水分補給・体調確認・その他				
10:00	ミーティング				
	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	合同活動
12:00	昼食・歯磨き・自由時間				
13:30	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC
14:45	更衣・水分補給・ミーティング				
15:30	送迎バスまたは家族送迎にて帰宅				

⑥ 目的別グループ

グループ	人数	活動内容	
		目的	活動内容
サンサン	14名	健康や体力の維持増進・気分転換を目的としたウォーキング、館内歩行、ストレッチ等。集中力や日中のメリハリを目的とした作業活動。	散歩・作業（クッキー作り、缶回収・つぶし・仕分け並べ、新聞回収、ビーズ作り、紙すき等）・軽運動・足浴・調理・音楽・買い物・お茶会等

ポレポレ	13名	身体機能の維持・発達を目的としたストレッチや感覚活動。集団と個別を意識した創作やレク活動。	理学療法士・作業療法士によるストレッチ・買い物・散歩・音楽・軽運動・足浴・本読み・創作・お弁当購入(ランチ)・こよみ作り等
------	-----	---	---

⑦ 日中活動

	午前		午後		内容
月	A	資源回収	A	リラックス スヌーズレン	毎日の活動をA・B・C、3つのチームに分け、サンサングループ、ポレポレグループ利用者混合で組み、活動を行った。
	B	創作①	B	散歩(運動)	
	C	創作②	C	創作	
火	A	バス外出	A	足浴	その日の体調に合わせてメンバーを分ける事で、内容に合った活動に参加できた。
	B	バス外出	B	足浴	
	C	館内活動	C	散歩(運動)	
水	A	資源回収	A	創作	資源回収では、地域で回収した缶を洗う・並べる・仕分ける・潰す等の工程に分けて取り組んだ。
	B	散歩	B	創作	
	C	創作	C	散歩	
木	A	バス外出	A	作業	創作活動では、季節に合った暦作りを行い、地域の施設に配布した。
	B	バス外出	B	リラックス	
	C	創作	C	散歩	
金	A	合同活動	A	散歩	合同活動ではサンサングループ・ポレポレグループ合同でレクレーション活動(ボッチャ、ボーリング等)を行い、生活介護事業全体で交流できる場を作った。
	B		スヌーズレン		
	C		スヌーズレン		

⑧ その他の活動・サービス(全グループ共通)

ア. 利用者の自治会活動(ひまわり会)

ひまわり会の話し合いは年間4回、全体で行った。8月のサマーパーティーと年度末の納め会を利用者が主となって企画し、進行の役割を担当した。行事開催時の開会・閉会の挨拶は利用者代表が行った。

イ. 調理実習

今年度も引き続きコロナ感染症対策を行いながら、家庭菜園を行い収穫した成果物をさらに調理実習で用いてピザ作りを行った。

2月はバレンタインデー、3月はホワイトデー企画でクッキー作りを行い、出来上がったクッキーは活動時間に皆で試食した。

ウ. 理学療法・作業療法

理学療法士、作業療法士に相談し、利用者のニーズに合わせたストレッチ・訓練や自助具・座位保持等の補装具を製作した。また、車椅子の状態を確認し、家族へ使用時の様子を伝えた。

エ. プール活動

コロナ感染症対策のため、中止した。

オ. 音楽活動

コロナ感染症対策を徹底しながら、活動内容も工夫し実施した。また、声を出して歌う時は、その様子をビデオに撮り、映像を流した。

飛沫感染防止対策として講師と利用者の上に大きなアクリル板で仕切りを作り、感染症対策をしっかりと行いながら実施した。

カ. パーソナル外出

利用者の声を取り入れ、購入したい物別のグループに別れ買い物に出かけた。地元の商店街へ出向き、唐揚げやスイーツを各々で購入し、給食の時間に食べている。

キ. クラブ活動

家庭菜園、梅干し作りを行うグループと、その様子を写真におさめるグループで実施した。家庭菜園ではバジルやトマト、しし唐、を苗から育て、収穫した。梅干しは、近隣施設の庭から頂いたり、地元の八百屋さんから購入し出来上がった物を持ち帰ったり、お世話になった施設へプレゼントした。

⑨ 全体行事

実施日	行事名	実施場所	参加人数	
			利用者	ボラ
6月11日	ぬまりんピック	中野区障害者福祉会館	17名	0名
8月6日	サマーパーティー	中野区障害者福祉会館	16名	0名
12月28日	忘年会	中野区障害者福祉会館	20名	0名
3月31日	納め会	中野区障害者福祉会館	18名	0名

⑩ 家族との連携（コロナ感染症対策の中止）

家族連絡会（感染症予防対策のため3回のみ開催）	3回	会館まつり（感染症予防対策のため中止）	0回
家族相談会（希望者に対して実施）	4回	個別面談（感染症予防対策のため延期）	0回
ぬまりんピック	1回	給食試食会	0回

⑬ タイムケア

17時まで（89回）	91回
18時まで（2回）	

（6）特定相談支援事業

① 利用対象者

会館生活介護利用者

② 相談窓口の時間、開所日

毎週水曜日 15：30～17：00

③ 利用者数

ア．令和3年度新規計画作成 2件

イ．更新 12件

ウ．モニタリング 14件

5. 権利擁護

（1）事業所としての取組み、方針

会館運営、自立訓練事業、生活介護事業から担当職員を2名ずつ選出し、権利擁護について取り組んだ。

また、ボランティアや実習生、近隣住民との交流を持ち、常に外部の目を入れることで、職員の意識改革を図った。

（2）虐待防止委員会

① 委員会・会議等

館長、各事業主任と各事業から職員1名が出席し、虐待に繋がる可能性がある支援と良い事例となる支援について話し合った。会議内容については翌朝、全体朝礼時に発表し情報の共有を行った。

② 外部研修

2月22日	障害者高齢者虐待防止講演会	1名
-------	---------------	----

③ 施設内研修・学習会（研修フィードバック）

令和3年9月3日虐待防止園内研修を生活介護事業にて実施した。（17名参加）生活介護事業、自立訓練事業各事業に対してチェックとフィードバックを実施した。

実施日	実施内容	参加人数
9月3日	チェックリストの実施・フィードバック（生活）	18名
8月12日	チェックリストの実施・フィードバック（自立）	14名
3月30日	チェックリスト分析（年間まとめ）（自立）	14名
3月30日	チェックリスト分析（年間まとめ）（生活）	18名

(3) 苦情解決第三者委員

契約時における苦情解決担当者、苦情解決責任者の説明に加え、法人窓口、区担当・オンブズマン、第三者委員等を紹介し、事業の適正化や信頼性の確保を図る取り組みを行った。第三者委員との連携を強化し、運営協議会の参加及び活動見学を計画したが、新型コロナウイルス感染予防のため、実施できなかった。

運営協議会（コロナ感染症対策のため、書面にて実施。）	1回
----------------------------	----

(4) 個人情報保護

中野区個人情報保護条例及び中野区情報公開制度に基づき、区により定められた取り扱うことのできる個人情報の範囲、取扱い方法について課せられた制限及び義務を遵守した。

① 施設で扱う個人情報の範囲と管理について

ア．施設で扱う個人情報は、利用者支援上、特に必要な情報のみに限定し、職員の責任と権限を明確に定め、管理を徹底した。

イ．個人ファイルについては、全て事務所内の施錠できる保管庫に管理し、職員による緊急時の個人情報の持ち出しは、管理者を通して行った。

ウ．システムによる管理を徹底し電子媒体の個人保有を禁止した。

② 情報提供について

緊急対応時を除き、他の指定事業者やその他第三者に対し、利用者または、その家族に関する情報を提供する場合は、あらかじめ文書により利用者または家族から同意を得るようにした。

③ 職員教育

個人情報の取り扱いに対して全職員に説明し管理を徹底した。

(5) 障害者差別解消法

「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」を活用し、障害特性に応じて事業毎に支援方法を確認した。

また、合理的配慮については外出訓練の振り返り時に、外出先での社会の障壁について、利用者と話し合った。

6. 医務

(1) 健康管理

① 自立訓練（機能訓練）事業

年22回、自立訓練及び地域活動支援センターの利用者を対象に嘱託医による診察を実施した。利用者の健康状態を把握し、家族・主治医・関連医療者との連携を図り健康で安全な生活が送れるように支援

した。

- ア. 利用者が安全に通所できるように、通所時毎に利用者の体調を観察、把握した。また、新型コロナウイルスに関する情報を収集し、利用者・職員への注意喚起、手指消毒機器の設置等、施設内の衛生管理や感染症対策を行った。
- イ. 利用者が自らの健康状態に関心を持ち管理ができるように、視覚からの理解を促す教材の導入や食事指導などを行った。
- ウ. 新規利用者に対して効果的に訓練を実施できるよう、医療機関からの情報を基に令和3年度は3名のアセスメントを実施した。

② 生活介護事業

年1回、全利用者を対象として定期健診を行い、利用者の健康状態を把握し、家族・主治医等と連携を図り健康で安全な生活が送れるよう支援した。令和3年度は、医療的ケア対象利用者を主とした医ケア相談の機会を3回作り、医療面での体制強化に努めた。

- ア. 利用者、家族より健康情報を得て健康管理を行った。
- イ. 月1回、体重血圧測定及び必要に応じてバイタルチェックをすることで、疾病等の早期発見に努めた。
- ウ. 各検診を実施し、必要と思われる医療情報等を各家庭へ提供することで健康や疾病に対する注意を喚起した。
- エ. 利用者が会館内で衛生的な生活が送れるように環境を整えた。
- オ. 利用者の体調を観察・把握し、社会の感染情報も得ながら、施設内の衛生管理を行った。
- カ. 職員の健康管理を行った。年1回健康診断を受け、自らの健康状態を把握し、必要に応じて嘱託医の助言を受けながら健康維持に取り組んだ。

(2) 実施体制

関係医療機関・嘱託医

医療機関名	主な診療科目
西武沼袋医院	内科・外科・泌尿器科・皮膚科
石坂整形外科	整形外科・理学診療科
銀河クリニック	精神科
神戸歯科医院	歯科
心身障害児総合医療療育センター	指導医による医療的ケアの確認と相談

(3) 嘱託医健診等

① 自立訓練（機能訓練）事業

内科健診	22回	体重測定	毎月
整形外科健診	22回	健康チェック	毎日
精神科相談	0回		

② 生活介護事業

内科健診	2回	体重測定	12回
整形外科健診	2回	健康チェック	毎日
精神科健診	3回	定期健康診断	1回
歯科検診	2回	医療的ケア相談・研修	3回

(4) 感染症予防・対応

- ① 感染症マニュアル・新型コロナウイルスマニュアルを基に、予防・対応に取り組んだ。
- ② 毎日、利用者帰宅後に活動室内の物品・トイレ・洗面等の消毒を行い衛生管理に取り組んだ。
また、トイレや活動室、食堂の洗面所には手指用消毒液を設置し、こまめに手洗いと消毒を行い、感染症を予防した。
インフルエンザ流行時期には、特に加湿など環境面に配慮した。また利用者家族に注意・喚起を行った。
- ③ 新型コロナウイルス感染防止として、次亜塩素酸水精製機のレンタルと次亜塩素酸水の噴霧機を導入し、利用者活動室や事務室、医療的ケア対象者の活動室などで噴霧を行った。
- ④ 中野区から手袋や防護服等の感染予防物品の支給を受け緊急時対応の為に備えた。
- ⑤ 公用車内の、運転席と後部座席間にビニールの間仕切りを設置し飛沫感染予防を行った。

(5) 理学療法士・作業療法士との連携

利用者の必要に応じて理学療法士・作業療法士と連携を図り、筋力の維持、拘縮予防等について対応し、運動機能の改善、維持を行った。
また、必要に応じ研修やケース検討会等を企画し、支援員・看護師は介護技術の助言を受け、支援に反映させた。

7. 給食・調理

利用者の障害特性を考慮し、可能な範囲内で柔軟に対応した。食形態については普通食以外に、嚥下機能等に配慮をした軟菜食、ソフト食、ペースト食の区分を設け、その区分から個別に対応した。

(1) 給食会議

新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえて、会議は行わず書面での開催とした。

(2) 衛生管理（食中毒予防）

委託業者は、業者の衛生管理マニュアル（作業管理規定、作業標準書）に沿って作業環境や作業員・作業場の衛生管理に取り組み、調理作業を行った。

(3) 委託業者

給食提供業者

会社名：株式会社CTMサプライ

所在地：東京都新宿区四谷三栄町9番4号堀木ビル2階

電話：03-6457-8282

FAX：03-6457-8283

8. 危機管理体制

(1) 事故防止・報告・改善と感染症の予防対策

職員会議・ミーティングで定期的に「ヒヤリハット・インシデント」報告を行い、職員間で危機管理意識を共有した。新型コロナウイルス感染症に対しては施設内研修を実施し、感染予防の理解を深めた。また、陽性者発生時には保健所、中野区施設係、東京都及び法人に対して報告を行った。

(2) 緊急連絡網の整備

緊急時に備え、災害時優先回線を利用した職員間の緊急連絡体制を整えた。また、中野区障害者福祉会館を災害時の二次避難場所であることを利用者・家族へ周知した。その他、生活介護事業では緊急時回覧メールを整備し、一斉送信テストメールの配信を行った。

(3) 保険の加入

施設として施設賠償保険に加入するとともに、行事保険やボランティア保険にも加入した。

(4) 特定個人情報管理（マイナンバー関連書類・データ等）

特定個人情報は、法人「特定個人情報取扱規程」に則り、管理区域、取扱区域を設け、取扱責任者、取扱担当者のみが取り扱い、決められた目的のみに使用した。職員等からの番号収集は、規程にのっとり、適切な方法で行った。

職名	氏名
管理責任者(法人)	事務局長
取扱責任者	施設長
取扱担当者	事務員

9. 防災訓練関係

(1) 自衛消防体制

障害者福祉会館館長を隊長として、館内にある区民活動センターと協同で自衛消防組織を編成し、訓練を実施しながら有事に備えた。

(2) 防災訓練

① 自立訓練（機能訓練）事業 隔月に防災訓練実施

総合防災訓練（合同）	2回	避難訓練	4回
------------	----	------	----

② 生活介護事業 隔月に防災訓練実施

総合防災訓練（合同）	2回	避難訓練	4回
------------	----	------	----

(3) 大規模地震・災害対応

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、総合防災訓練は消防署の立ち合いが難しかったため、職員のみで実施した。

10. 家族（保護者）との連携

(1) 生活介護事業

日々の連絡帳を通して、家庭での様子、施設からの連絡や利用者の活動時の様子、健康面の特記事項等、情報交換を行い連携した。

- ① 毎月「月予定」を作成し、月の活動や行事の日程を伝えるとともに、前月分の活動の様子を写真で家族に報告した。
- ② 年4回生活介護広報誌「ひまわりだより」を作成し、行事の様子を報告した。
- ③ 今年度の家族会は、コロナ感染症対策のため、3回開催した。
- ④ 中間時・年度末ともに個別支援計画書の作成・見直し・報告は書面でのやり取りに切り替え、利用者・家族の意向を踏まえた計画書を作成した。
- ⑤ コロナ禍だからこそ話しをしたい、という家族思いを汲み取り、感染症対策を取りながら保護者毎に相談会という形で開催し、4名の面談を行った。
- ⑥ 例年どおり「ぬまりんピック」を実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族の参加は中止とした。

11. 地域との連携

(1) 地域交流

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会館まつりを中止とした。
- ② 活動を通して近隣や障害者団体、学校や保育園等と交流を行った。

③ 社会福祉士相談援助実習及び保育士実習の受け入れを行った。介護等体験実習の受け入れはコロナ感染拡大防止のため、中止した。

④ アルモニーは、新型コロナウイルスの感染状況を見て展示を行った。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

① 障害者相談支援事業所との情報交換と連携を強化した。

② 自立支援協議会の各部会へ参加した。

ア. 施設系事業者連絡会

イ. 相談支援部会

ウ. 差別解消部会

エ. 自立支援協議会全大会

③ 中野区高次脳機能障害支援者連絡会へ参加した。

(3) 実習・ボランティア等受け入れ状況

① 自立訓練

ア. 実習・体験・見学等

介護等体験	0名	短大インターンシップ	4名
社会福祉士相談援助実習	8名		

イ. ボランティア

日常（作業・活動・企画等）	1名
---------------	----

② 生活介護

ア. 利用者実習

特別支援学校	1回
--------	----

イ. 実習・体験・見学等

介護等体験	0名	保育実習	1名
-------	----	------	----

ウ. ボランティア

行事（会館まつり・外出・宿泊旅行・プール等）	0名
------------------------	----

12. 会議・委員会

(1) 法人関係

施設長会議 （オンライン会議）	11回	主任係長会 （オンライン会議）	7回
事務連絡 （オンライン会議）	2回	看護師連絡会 （オンライン会議）	1回

(2) 施設関係

運営会議	1回	医務会議	12回
運営協議会（コロナ感染症対策の為、文書にて対応）	1回	会館まつり全体会議（会館まつり中止のため実施せず）	0回

虐待防止委員会	5回	会館まつり担当者会議(会館まつり中止のため実施せず)	0回
人事考課者会議	2回	防災担当者会議	2回
給食会議(書面開催含む)	12回	全体職員会議	1回
バス運行会議	3回		

(3) 区関係

自立支援協議会 全体会	1回	入所情報連絡会	0回
相談支援部会	11回	施設系事業者連絡会	5回
差別解消部会	2回		

(4) サービス事業別会議

① 自立訓練(機能訓練)

職員会議	12回	支援員会議	11回
------	-----	-------	-----

② 生活介護

職員会議	12回	個別支援計画全体会議	9回
グループ会議	12回	家族連絡会	3回
リーダー会議	12回	給食会議(書面開催含む)	12回

1.3. 研修計画・大会参加

(1) 会館運営(研修等実施・参加状況)

コロナ感染症拡大防止のため、外部研修には参加せず、スペシャルラーニングを活用し各自研修に参加した。

(2) 自立訓練(研修等実施・参加状況)

① 法人関係(主催:東京都手をつなぐ育成会)

8月23日	初級中堅研修	1名
12月13日	施設体験研修(大田区障がい者総合サポートセンター)	2名

② 外部研修

5月31日	差別解消部会 (主催:中野区障害者自立支援協議会 web開催)	1名
12月9日	中野区高次脳機能障害関係機関連絡会 (主催:中野区健康福祉部障害福祉課)	1名
3月23日	差別解消部会 (主催:中野区障害者自立支援協議会 web開催)	1名
3月25日	環境衛生実務者研修会 (主催:公益財団法人 国際医療福祉教育財団)	1名

③ 施設内研修・学習会(研修フィードバック)

5月25日	自立訓練(必要な身体のこと)について	10名
5月27日	自立訓練(理学療法)について	10名

6月4日	気管カニューレの管理について	8名
6月24日	自立訓練（作業療法）について	10名
7月9日	自立訓練（言語療法）について	11名
7月29日	感染症（感染性胃腸炎）の対応について	10名
2月21日	コロナ感染について	9名

④ 見学

終了後サービス利用先等					
5月19日	東部福祉作業所	1名	6月30日	コロニー中野	1名
7月6日	東部福祉作業所	1名			

（3）生活介護（研修等実施・参加状況）

① 法人関係（主催：東京都手をつなぐ育成会）

5月5日 6日 12日 13日	新任研修	1名
7月6日	人事考課研修（中級編）	1名
9月10日 1月21日	上級中堅研修（両日共にWeb開催）	1名
12月19日	人事考課研修（基礎編）	1名

② 外部研修

6月1日	生きるのには理由はいるの？「津久井やまゆり園」が問 いかけた物は？ （主催：東京都障害者通所活動施設職員研修会 Web開催）	1名
6月17日 7月16日 8月23日 24日	計画相談現任研修 （主催：東京都心身障害者福祉センター 6月17日のみWeb開催）	1名
7月7日	ご家族と信頼関係の構築を目指して （主催：東京都福祉協議会 Web開催）	2名
7月8日	利用者さんが飲んでいる薬を知ろう！ （主催：東京都社会福祉協議会 Web開催）	2名
8月27日	給付費請求業務の基礎知識・情報交換会 （主催：東京都社会福祉協議会 Web開催）	1名
11月11日	自衛消防研修（東京都消防庁野方消防署）	1名
12月17日	ハードクレームに対する対応方法 （開催：中野区健康福祉部障害福祉課 Web開催）	2名
12月15日	2021年度東京都障害者支援施設等の新型コロナウイルス 感染予防対策研修（開催：東京都看護協会 Web 開催）	1名

1月31日	相談支援専門員に必要な視点とは？ (開催：中野区健康福祉部障害福祉課 Web開催)	1名
2月4日	実際の事例からより良い支援について考えよう (開催：中野区健康福祉部障害福祉課 Web開催)	2名
2月10日	強度行動障害のこれからと個別支援計画作成 (主催：東京都社会福祉協議会 Web開催)	1名
2月10日	生活習慣病予防講習会 (主催：独立行政法人国立重度障害者総合施設のぞみの園 Web開催)	1名
2月22日	障害者高齢者虐待防止講演会 (開催：中野区健康福祉部障害福祉課 Web開催)	1名
3月11日	障害者施設における高齢・重度化への対応を考える (主催：東京都社会福祉協議会 Web開催)	1名
3月25日 26日	環境衛生実務者研修会 (主催：公益財団法人 国際医療福祉教育財団)	1名

③ 施設内研修・学習会（研修フィードバック）

6月4日	気管カニューレの管理について	14名
7月20日	東京都育成会大会（Web開催）	16名
7月29日	感染症予防講習会	23名
9月3日	虐待防止園内研修	17名
1月12日 13日	障害者支援施設等のコロナウイルス感染対策研修	15名
2月22日	障害のある人の生活習慣病 予防に必要な事	14名

14. 労務管理

(1) 職員健康管理

	実施期間	実施人数
定期健康診断	令和3年11月～令和4年3月	35名
特定業務従事者健康診断	該当なし	

(2) 衛生推進体制

職務名	氏名	備考
産業医	該当なし	
衛生管理者	該当なし	
衛生推進者	看護師	
衛生委員会	該当なし	

衛生推進取組結果

- ① 労働者の危険又は、健康被害の防止をするための措置に関すること。
- ② 労働者の安全又は、衛生のための教育の実施に関すること。

- ③ 健康診断の実施その他健康診断の保持増進のための措置に関すること。
- ④ 労働災害の原因調査及び再発防止に関すること。

報告事項	件数及び実施日時	その他
①	5回 必要時（朝礼）	感染症、体調管理等必要時に朝礼で呼びかけを実施。
②	1回	腰痛軽減のための福祉機器「支えて君」の導入、説明会を実施
③	1回 健康診断実施時	2次健康診断の有無の確認
④	2回	危険個所の全体周知、情報の共有（4月20日、12月14日）

（3）ワーク・ライフ・バランスの推進

- ① 時間外勤務・休日勤務の削減への取り組み結果
事業ごとに業務を見直し、時間外勤務に関しては、職員が計画的に実施する習慣を確立できるよう周知徹底した。
また、休憩時間についても効率よく業務につける時間帯を事業ごとに設定した。結果として時間外勤務の時間数を削減できた。
- ② 年次有給休暇の取得しやすい環境の整備への取り組み結果
各事業とも、月初に年次有給休暇希望を確認し事業に影響のない体制で各自取得する事が出来た。

（4）職場におけるハラスメント対応体制

職務名	氏名
ハラスメント法人対応責任者	事務局長
ハラスメント法人相談窓口	相談員
ハラスメント事業所相談窓口（自立訓練）	自立訓練事業主任 他1名
ハラスメント事業所相談窓口（生活介護）	生活介護事業主任 他1名
相談実績	0

（5）メンタルヘルス・ストレスチェック制度

- ① メンタルヘルス
 - ア．法人外相談窓口 東京メンタルヘルス メンタルサポートネット 利用可能
 - イ．法人内相談窓口 職員悩みごと相談窓口 相談員 事業所全職員に周知済み

② ストレスチェック制度

実施規程に基づき当該職員に以下の日程でストレスチェックを実施した。

職務名	氏名
ストレスチェック制度担当者	事務局長
ストレスチェック制度実施者	株式会社 HL&E
ストレスチェック実施実務担当者	人事・労務部門担当職員のみ
面接指導担当医師	株式会社 HL&E 精神科医
実施日程	2月21日～3月11日

(6) 次世代育成支援

行動計画に基づく取組結果

取組	実績件数・人数
子供参観日	0件
職場体験等受け入れ	1件 5名

15. 指導・監査・調査等

(1) 労務環境モニタリング

中野区が指定管理施設に対して、その指定期間中に実施する。今年度は対象年度ではなかった。

(2) 事業別満足度調査の実施

満足度調査を実施し、集計結果を利用者及び区に報告した。

16. 指定管理

(1) 第1期

平成21年4月1日から平成26年3月31日（5年間）

(2) 第2期

平成26年4月1日から平成31年3月31日（5年間）

(3) 第3期

平成31年4月1日から令和6年3月31日（5年間）